

オリエント・ハイウェイ の計画樹立を望む

An Orient Highway Project Should be Devised

東京道路エンジニア(株)取締役相談役

比留間 豊



約20年前の1965年、日本の高速道路の着手当時、機会あって、アメリカ、南米ペルー、ヨーロッパのイギリス、フランス、オランダ、ドイツ、スイス、イタリアの各国道路を見学した。当時、アメリカから南米東海岸を通りアルゼンチンに至るパン・アメリカン・ハイウェイを、ペルーで工事中であった。

ヨーロッパでは、自由主義国、共産主義国の別なく、ヨーロッパ共通道路番号を「E何号」とつけてはいたが、未だ高速自動車道は極く一部しかなかった。今年の道路地図を見ると、アジアハイウェイにつながる「E5号線」を見ると、フランス・カレー附近を起点に、ベルギー・ブリュッセル、西ドイツ・ケルン、フランクフルト、オーストリア・ウィーンまではほとんどが完成し、ハンガリーのブダペスト、ユーゴスラビアのベオグラード、ブルガリアのソフィア、トルコのイスタンブールはルート沿いに、首都を中心に、着々と高速道路が進められている。

ヨーロッパ～ソビエット線は、「E8号線」がオランダ・ロッテルダムから西ドイツ・ハノーバー、東ドイツ・ベルリン、ポーランド国境までは高速道路で完成しており、ポーランドの中は一般道らしいが、ソビエット国境のブレストからモレンスク、モスクワ間はソビエット番号1号自動車国道である由、各都市間の距離が克明に記入されている。

一方、極東方面は、アジアハイウェイがまず自動車の通れる道路ということで計画されたが、余

り円滑に進展していないし、中国、北朝鮮、韓国、日本、ソビエットの極東部、モンゴリア等は、国毎に計画、実施を行っている状況である。

アジアハイウェイを更に発展させ、オリエントハイウェイ計画を進めたいものである。例えば「O1号線」は、トルコのイスタンブールからアンカラ、イランのテヘラン、アフガニスタン、インドのデリー、カルカッタ、ビルマのラングーン、タイのバンコック、ベトナムのハノイ、中国は香港、広州、杭州、上海、南京、北京、瀋陽、新義州、北朝鮮の平壤、韓国のソウル、日韓トンネル、福岡、東京としたい。

「O2号線」は起点モスクワ、パイプライン沿いにノボシビルスク、バイカル湖付近、中国のチチハル、ハルビン、再びソビエットに入りウラジオオストック、間宮海峡トンネル、樺太、日本の北海道、稚内としたい。「O3号線」はシルクロードが考えられるし、また多くの支線も考えなくてはならない。

この8月には、アジア・オーストラリア道路会議もシドニーで開催される。ヨーロッパに遅れること20年であるが、先ず、共通道路番号をつけることから始めてもよいのではなかろうか。

パリを起点とした鉄道オリエント特急は、最近廃止されたが、自動車による人及び物の動きは、確実に増加している。もう21世紀は目前であり、何主義の国であれ、経済の相互依存なくして国の発展はあり得ないし、ハイウェイは重要な役割を果たし、世界平和に貢献するに違いない。